

2026年3月2日

報道関係各位

東京ミッドタウンマネジメント株式会社

オフィステナント企業による会社対抗バンド大会が熱狂のなか閉幕
**「東京ミッドタウン オフィスワーカーバンドライブ 2026
@ビルボードライブ東京」**

～東京ミッドタウン3物件から参加企業が集結！11社約60名による熱いバンド大会～

東京ミッドタウン(港区赤坂/事業者代表 三井不動産株式会社)は、2026年2月22日(日)に「東京ミッドタウン オフィスワーカーバンドライブ 2026@ビルボードライブ東京」を開催しました。

本イベントは2017年より開催しており、8回目の開催となる今年は、六本木・日比谷・八重洲3物件から事前の動画審査や予選会を経て、11社約60名が参加しました。

普段は観客としてしか入れない「ビルボードライブ東京」の舞台に立てる貴重な機会ということもあり、各社力の入った演奏で大会を盛り上げました。



▲集合写真

当日は午前中からリハーサルを実施し、昼過ぎに開場。1組目からコール&レスポンスが飛び交う観客を巻き込んだエネルギッシュな演奏で会場のボルテージを押し上げ、クライマックスに近づくにつれ会場の盛り上がりは最高潮に。会社仲間や家族、参加チームも観客として参加し、演奏者と一体となって会場を盛り上げました。

各バンドがオリジナリティ溢れるパフォーマンスを披露し、演奏技術・パフォーマンス力・チームワーク等をふまえた厳正な審議の末に各賞を決定。最後の結果発表時には、歓声や驚きの声、他のチームを称える光景が見られアットホームな雰囲気の中、閉幕しました。

● 大会当日の様子



▲演奏中の様子

● 結果

グランプリ: MTE9 Band (ソニー・ホンダモビリティ株式会社)

準グランプリ: TERRA KIGERS (株式会社ナイキジャパン)

ビルボードライブ東京特別賞: MIRAI 星団 (ファーマクラスター株式会社)

賞品として、東京ミッドタウン共通商品券やビルボードライブ東京招待券が贈呈されました。



▲MTE9 Band
(ソニー・ホンダモビリティ株式会社)



▲TERRA KIGERS
(株式会社ナイキジャパン)



▲MIRAI 星団
(ファーマクラスター株式会社)

<参加者からのコメント>

グランプリ: MTE9 Band (ソニー・ホンダモビリティ株式会社)

「昨年は初めての参加でしたが、ボーカルがないバンドは少ないと思い、誰もが知っている J-POP をアレンジして出場し、準グランプリをいただくことができました。今年と同じことはやりたくないという気持ちで、グランプリからは遠のくかもしれないが、自分たちらしいスタイルの“JAZZ の曲で挑戦”をコンセプトに大会に臨み、グランプリを獲得することができ、大変嬉しいです。来年も大会があれば、また新しいことを考えてぜひ参加したいと思います。」

【本イベント開催の背景】

本イベントは、「東京ミッドタウンで働く方々のロイヤリティ・満足度向上」を目的とした、社内公募で生まれた企画です。東京ミッドタウンのオフィスワーカーの皆さまが、ハイエンドな空間であるビルボードライブ東京で演奏するという、ここでしか体験できないユニークな機会を提供しています。ビルボードライブ東京という特別な場でのバンド演奏を通じて、オフィスワーカーの皆さまが新たな交流を深める場となることを願い、2017年より開催しています。昨年からは日比谷・八重洲の「東京ミッドタウン」を含めた3物件から参加企業を募り、交流の場を広げています。

リモートワークが普及する中で、リアルな場でのコミュニケーションが希薄化しているオフィスワーカーの現状に対し、本イベントは東京ミッドタウンのコンセプトの一つである「DIVERSITY」を具現化する取り組みでもあります。オフィス機能と商業機能を組み合わせることで生まれる相乗効果を最大限に活かし、働く方々のエンゲージメント向上に貢献したいと考えています。本イベントは、企業を超えた横のつながりはもちろん、異なる世代間の交流まで広がるなど、東京ミッドタウンならではの特別なコミュニティを育てています。

その他にも東京ミッドタウンでは企業対抗のフットサル大会や防災ツアーなど、オフィスワーカーに向けた施策に取り組んでおり、今後もこのような施策を通じて、東京ミッドタウンが「単なる働く場所」という領域を超え、ソフト面からも交流を育むプラットフォームとして愛される存在となることを目指していきます。

【東京ミッドタウン オフィスワーカーバンドライブ 2026@ビルボードライブ東京 概要】

■開催日時

2026年2月22日(日)

■開催場所

ビルボードライブ東京(東京ミッドタウン ガーデンテラス 4F)

■開催者

主催:東京ミッドタウンマネジメント株式会社

協力:三井不動産株式会社、三井不動産ビルマネジメント株式会社

■MC/審査員

・ケン・マスイ (Entrepreneur, Producer / Music Director, Creative Director, DJ.)

■審査員

・GAKU-MC(ラッパー)

・高嶋直子 (Billboard JAPAN 編集長)

■参加企業・団体一覧(50音順)

- ・アビームコンサルティング株式会社
- ・EY 新日本有限責任監査法人
- ・AMC ソフトウェアジャパン合同会社
- ・株式会社ナイキジャパン
- ・株式会社マネジメントソリューションズ
- ・シスコシステムズ合同会社
- ・ソニー・ホンダモビリティ株式会社
- ・Netflix 合同会社
- ・ファーマクラスター株式会社
- ・弁護士法人 Authense 法律事務所
- ・本田技研工業株式会社

東京ミッドタウン(六本木) その他オフィスワーカー向けの取り組み

■オフィス対抗 フットサル大会

東京ミッドタウンに勤めるオフィスワーカー限定のオフィス対抗フットサル大会を実施。2008年にスタートし、これまでに14回開催しました。2024年大会からは東京ミッドタウン3物件(六本木・日比谷・八重洲)が揃い、入居テナント同士の交流の場を創出しています。



■東京ミッドタウンオフィスワーカーズアプリ

東京ミッドタウン(六本木)に勤めるオフィスワーカー限定で利用できるお得で便利なアプリをスマートフォンで提供。施設内で行われるイベントや商業店舗の最新情報、ランチタイムなどに使えるお得なクーポンも配信し、オフィスワーカーが商業店舗を利用する機会を創出しています。



■東京ミッドタウン 防災ツアー

オフィスワーカー限定で東京ミッドタウン(六本木)の防災への取り組みを学べるツアーを企画しています。防災センターやアクティブマスタンパーなどの設備、屋上の緊急救助用スペースなどもご覧いただくことで、ワーカーの防災意識を高める機会を創出しています。



■防火・防災体験訓練

防火・防災教育の一環として、オフィスや商業テナント等を対象に毎年防火・防災体験訓練を実施しています。2025年の訓練では、VRで火災の体験の他、自助・共助のための防火・防災資機材の使用体験などを行いました。



東京ミッドタウンについて



東京ミッドタウンは、広大なグリーンと6つの建物からなる複合都市です。街にはさまざまなショップやレストラン、オフィス、ホテル、緑地、美術館などの施設が集まっています。

四季を感じるイベントで季節に寄り添い、いたるところに息づくデザイン・アートや「TOKYO MIDTOWN AWARD」が発掘した若き才能にふれて新たな発見を。そして街に根づくおもてなしで心が解きほぐされていく。

それらを融合させることで訪れた人に、上質で心地よい場所と時間を提供することを目指しています。

<https://www.tokyo-midtown.com/jp/about/>

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025年4月に、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取組みは、「& EARTH for Nature」における重点課題の1つに貢献しています。



地域の想いをつなぐ